



ニュースリリース

2017年11月30日
新日鉄住金エンジニアリング株式会社
大阪ガス株式会社

Honda Automobile (Thailand) Co., Ltd.向けオンサイトエネルギー供給プロジェクト Ⅱ期工事の竣工と供給開始について

新日鉄住金エンジニアリング株式会社(代表取締役社長 藤原 真一、本社:東京都品川区、以下「NSENGI」と、大阪ガス株式会社(代表取締役社長 本荘 武宏、本社:大阪市中央区、以下「OG」)が子会社である Osaka Gas Singapore Pte. Ltd.(社長 米田 哲二、以下「OGS」)を通して共同出資するタイ王国現地法人 NS-OG Energy Solutions (Thailand) Ltd.(出資比率:NSENGI 70%、OGS 30%、以下「NSET」)は、Honda Automobile (Thailand) Co., Ltd.プラチンブリ工場向けオンサイトエネルギー供給プロジェクト^(※1)Ⅱ期工事を竣工し、11月からエネルギー供給を開始しました。同工場Ⅰ期工事は2015年7月に冷凍機と温水ボイラによる冷温水の供給が始まり、今回のⅡ期工事竣工によって、計画されていた全てのオンサイトエネルギー供給が可能となりました。これは昨年12月の Luckytex (Thailand) Public Company Limited 社向け、本年5月の Yokohama Tire Manufacturing (Thailand)社向けに続き、同国3件目となります。

本プロジェクトは、ガスエンジンによる発電後の排熱から蒸気・温水の双方を回収し、冷温水として供給する高効率コージェネレーションシステムの導入により、15年間にわたり電気と熱(温水、冷水)の供給を行い、工場内の省エネを図るものです。NSETが、コージェネレーションシステムの建設からオペレーション、ガスの調達まで全て行う「エネルギー・ワンストップサービス」を提供するビジネスモデルとなっております。

環境面においては、CO₂排出量が大幅に削減^(※2)され、地球温暖化防止に向け大きな効果が期待できます。さらに、系統電圧が低下した際には速やかに自立運転に移行し、コージェネが非常用電源として単独でのエネルギー供給を継続することが可能なため、系統事故時における工場の操業安定化にも貢献できます。

引き続き、両社(NSENGIおよびOG)は、これまでの豊富な建設及び操業・保守経験を活かし、環境性・経済性に優れたエネルギーエンジニアリングソリューションを提供することで、低炭素社会の実現に向けた顧客企業の取り組みに貢献し、タイ国における事業拡大を図ってまいります。

(※1)コージェネレーション設備エンジニアリングに加え、設備の操業(運営・維持管理)サービスを提供するプロジェクト

(※2) CO₂削減量 5,000t-CO₂/年(現地性能試験結果に基づく試算)

【プロジェクト概要】

○Honda Automobile(Thailand) Co., Ltd.プラチンブリ工場

- 工場所在地 Rojana Industrial Park, Prachinburi Province, Thailand
- 工場敷地面積 :2.56 km²

○ガスエンジン・コージェネレーション設備

- 発電出力 :7,800kW
- 温水供給能力 :2,300kW
- 冷水供給能力 :2,700kW



コージェネレーション設備外観



ガスエンジン

【お問い合わせ先】

新日鉄住金エンジニアリング株式会社 CSR・広報部 広報室 電話 03-6665-2366
大阪ガス株式会社 広報部報道チーム 電話 06-6205-4515

以 上